

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表（公表）

公表： 2021 年 2 月 6 日

事業所名：こどもサポート教室「きらり」北田宮校

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			法令を遵守したうえ、工夫してスペースを確保している。
	②	職員の配置数は適切であるか	○			基準職員 2 名に加え、加配職員 2 名を配置している。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		○		支援室の環境は必要に応じてすぐに変更できるようにしている。玄関の扉が重いので見守りや介助をしている。スロープはないが、現状での支障はない。
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			ミーティングには全職員が参加し、その都度検討している。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			アンケートを実施し、取りまとめている。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			毎年、事業所のホームページで公開している。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	第三者による外部評価は実施していない。法人内での内部監査等を実施し、評価結果を業務改善につなげている。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			内部・外部問わず、研修には積極的に参加するように努めている。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			ニーズの聞き取りはその都度行い、計画に反映している。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			きらりのブロック内で使用しているアセスメントシートを使用している。業務改善のため、様式等は継続して改善を行う。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			個別での活動においては担当職員が活動プログラムを決める事が多い。一緒に活動する内容については協同し、立案する。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			発達段階に応じて活動内容を変えたり、興味の移り変わりに応じて工夫している。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			季節の行事に合わせて課題を作成したり、休日には平日とは違った時間帯や環境設定での支援を行うなどしている。

	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○		個別での活動が中心ではあるが、目的によって複数人数での関わりを持つことも計画の支援内容としている。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		複数人数での関わりや教材のやり取りなど、必要に応じて打合せをしている。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか		○	支援の内容やご家族からの連絡事項など、必要に応じて情報共有している。夕方以降、繁忙になるため当日の終業時までの振り返りは最小限で実施している。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		毎回、支援記録を作成している。誰が見ても分かりやすい記録を心がけている。
	⑱	定期的モニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○		計画期間に関わらず、必要時にはその都度見直しをしている。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	○		発達段階や特性に応じた複数のプログラムを組み合わせ支援を実施している。
関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		できるだけ多職種で参加できるように努めている。コロナ渦で参加機会が減少しているが、オンライン等も活用していきたい。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○		ご家族の希望や学校の状況に応じて対応している。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○	該当者なし。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○		保護者を通じて情報交換をしたり、書面のやり取りなどが中心となっている。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		○	該当事例なし。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		研修等には積極的に参加するように努めている。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○	交流の機会は特別に設けてはいない。
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	○		状況に応じて研修等への参加をしている。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		支援後に保護者と話をする時間を取り情報共有を図っている。

	②9	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○			ペアレントトレーニングなどの画一化した家族支援プログラムは実施できていないが、支援後のフィードバック時やモニタリング時の相談において支援ができるようにしている。
保護者への説明責任等	③0	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約時に説明を行うと共に、内容変更時にはその都度説明を行っている。
	③1	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			モニタリング時に定期的な聞き取りを行うとともに、随時での相談も実施している。
	③2	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○			事業所内では保護者会の活動はしていないが、保護者参加型イベントの案内等の掲示をしている。
	③3	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			相談には随時対応するようにしている。
	③4	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			ブログやLINEを使用して情報発信している。月ごとに利用予定のカレンダーやイベント告知を手渡している。
	③5	個人情報に十分注意しているか	○			個人情報の入った書類は鍵付き書庫に保管し、パソコンにはセキュリティーをかけるなど、個人情報の保護に努めている。
	③6	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			特性に応じた視覚的情報や意思疎通手段を選択できるよう、状況の把握に努めている。誰にでも分かりやすい情報の提示を心がけている。
	③7	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○		行事は利用者や保護者のみの参加となっている。地域で開催される行事等は掲示してお知らせしている。外出時に地域資源を活用している。
非常時等の対応	③8	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			各種マニュアルは閲覧可能な状態で事業所に設置している。
	③9	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			月一回の防災訓練では様々な種類の災害に対応した訓練を実施している。
	④0	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			虐待防止マニュアルを作成し、年1回の研修を実施している。
	④1	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			身体拘束廃止のための研修を年1回実施している。身体拘束の該当事例はないが、必要時には検討できるよう契約時に説明を行っている。

④②	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			食事の提供はないが、保護者からの情報をもとにアレルギーとの接触がないように配慮している。
④③	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			ヒヤリハットや事故報告書を作成した時には事業所内での回覧を行っている。

保護者等向け 放課後等デイサービス評価の集計結果（公表）

公表： 2021年 2月 6日

事業所名：こどもサポート教室「きらり」北田宮校

保護者等数（児童数）：24（29）回収数：割合：79%

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	ご意見、ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	9	9		
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	9	9		保育士、児童指導員、公認心理師などの専門職が在籍しています。
	③	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	3	9	6	
適切な支援の提供	④	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画 ⁱ が作成されているか	16	2		
	⑤	活動プログラム ⁱⁱ が固定化しないよう工夫されているか	15	3		
	⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		6	11	
保護者への説明等	⑦	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	17	1		
	⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	17	1		
	⑨	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	12	7	1	
	⑩	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	1	4	13	
	⑪	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	15	3		苦情の受付がない状況なので、ご意見を頂ける環境づくりに努めます。
	⑫	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	17	1		
	⑬	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	14	4		ブログや LINE からの情報発信をおこなうことで、より知っていただけるよう今後おすすめしていきます。
	⑭	個人情報に十分注意しているか	16	2		

非常時等の対応	⑮	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	6	12		
	⑯	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	5	10	3	
満足度	⑰	子どもは通所を楽しみにしているか	18			
	⑱	事業所の支援に満足しているか	18			

i 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

ii

事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障害特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。